

青梅市公会下水道台帳図

1 9 2 6 - 4

2	1 9 2 7 - 1
1	1 9 2 7 - 3
2	2 0 2 7 - 1

9 2 6 - 4

和田町二丁目

1

田向和田三

縮尺 1 / 500

A horizontal scale bar with tick marks at 10, 20, 30, 40, 50, and 100 meters. The bar is marked with vertical lines at each 10m interval, and the text '100 m' is written at the far right end.

凡例	名 称
○	標準 1号マンホール (内径 90 cm)
○	標準 2号マンホール (内径 120 cm)
○	標準 3号マンホール (内径 150 cm)
○	標準 4号マンホール (内径 180 cm)
H5	標準 5号マンホール (内法 210 x 120 cm)
H6	標準 6号マンホール (内法 260 x 120 cm)
H7	標準 7号マンホール (内法 300 x 120 cm)
○	組立 0号マンホール (内径 75 cm)
①	組立 1号マンホール (内径 90 cm)
②	組立 2号マンホール (内径 120 cm)
③	組立 3号マンホール (内径 150 cm)
④	組立 4号マンホール (内径 180 cm)
K1	組立 矩形マンホール (内法 90 x 60 cm)
○	組立 方円形マンホール
T1	特殊 特1号マンホール (内法 90 x 60 cm)
T2	特殊 特2号マンホール (内法 120 x 120 cm)
T3	特殊 特3号マンホール (内法 150 x 120 cm)
T4	特殊 特4号マンホール (内法 180 x 120 cm)
○	小型マンホール (内径 30 cm)
□	特殊 特殊マンホール
□	特殊 分水マンホール
T	特殊 円形特殊人孔
T	特殊 矩形特殊人孔
○	特殊 特殊マンホール (桝使用)
(○)	楕円 楕円形マンホール (内法 120 x 90 cm)
(△)	楕円 楕円形マンホール (内法 90 x 60 cm)
□○	伏越マンホール (上流)
□	伏越マンホール (中流)
○□	伏越マンホール (下流)
□○	伏越分水マンホール (上流)
○□	伏越分水マンホール (下流)
□○	伏越防潮扉付マンホール (上流)
○□	伏越防潮扉付マンホール (下流)
☆	ダミー人孔
△	取入口、吐口、局外管取入口等
△△	処理場、ポンプ所への流入部または流出部
—	私道取入口上流部又は道路管理者区分点
(A)	空気弁
△	制水弁
(D)	泥吐
(C)	点検口 (清掃口含む)
□	下流方向調整部
注) マンホール、変化点及び接合点の色は 管渠と同じである。	
—→	合流枝線
—→	汚水枝線
—→	雨水枝線
—→	雨水枝線 (L U渠)
—→	雨水吐管 (枝線)
—→	合流幹線
—→	合流幹線 (市町村)
—→	污水幹線
—→	污水幹線 (市町村)
—→	雨水幹線
—→	雨水幹線 (市町村)
—→	清流復活
—→	雨水吐管 (幹線)
—→	処理場又はポンプ所からの放流渠
++→	合流圧送管枝線
++→	汚水圧送管枝線
××→	雨水圧送管枝線
→	合流圧送管幹線
→	合流圧送管幹線 (市町村)
→	汚水圧送管幹線
→	汚水圧送管幹線 (市町村)
→	雨水圧送管幹線
→	雨水圧送管幹線 (市町村)
●●→	再生水管 (中水道)
—	光ファイバーケーブル連絡管
—→	不明・その他
→	仮取入れ管
—→	局外管
→	汚泥管渠 (枝線)
→	泥吐き管 (枝線)
→	汚泥管渠 (幹線)
→	泥吐き管 (幹線)
□	矩形汚水桝
■	矩形雨水桝
○	円形汚水桝
●	円形雨水桝
—	取付管 (色は桝と同色である)
○	円形
○	矩形
○	馬蹄
○	背割り (円形)
○	卵型
U	L U型 (U型渠)
○	背割り (矩形)
—	複断面
K	共同溝
○	排水管
☆	その他
△	台形
○	円形複数 (矩形)
○	円形複数 (円形)
○	矩形複数 (矩形)
○	矩形複数 (円形)
K	共同溝 (矩形)
K	共同溝 (円形)
○	横二条管
○	インバート築造
—	都県境
—	市区境
—	町境・丁目境
—	処理区境
—	処理区分名
—	処理場
—	処理場名
—	排水区境
●●—	振入記号 (色は管渠、人孔と同色である)
○—	副管記号 (色は管渠、人孔と同色である)
特	特定事業場

この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺 2,500 分の 1 地形図を利用して作成したものである。（承認番号）2 都市基交著第 2 号 無断複写を禁ずる。